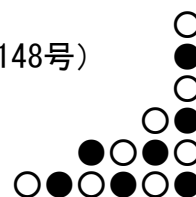


げんけん マンスリーレポート No. 2025-9 (第148号)

発信元 : 東京都市大学 原子力研究所
<https://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/>
発信日 : 2025/9/5



こんにちは。原子力研究所です。

今回は、8月に開催した原研の見学会イベント等についてご紹介します。
教養科目・教養特別講義「日本海軍の技術史」(丸島和洋先生)受講者を対象とした見学会を行いました。2日(土)と9日(土)に分けて行いましたが、50名の参加がありました。講義の中で登場する戦艦陸奥の鉄が実際に使用された遮蔽体が原研にあり、その実物を見て触るという体験をすることが主な目的でした。戦艦陸奥の鉄に代表される戦前の鉄は、製造過程で放射性物質が混入していないということで、放射能測定を行う際の遮蔽体として利用されています。都市大原研には特に大きな陸奥鉄の遮蔽体があり、分析機器・科学機器遺産にも認定されているものがあります。学生さんたちは興味深そうに実物に触れていました。

19日(火)、20日(水)では、内閣府男女共同参画局の主催する女子中高生・女子学生の理系分野への選択支援事業として実施されている理工チャレンジ(リコチャレ)の一環として実験室見学会を行いました。当初1日だけの予定でしたが、世田谷の中学校の科学・写真部の皆さんから参加申し込みがあったため2日に分けて開催となりました。

原子炉室やタンデム加速器室、放射能測定実験や原子炉シミュレータを見学していただき、エネルギー・資源の問題を考えるエレクトロネーションゲームにチャレンジしてもらいました。2日間で41名の参加があり、原子力・放射線の分野について理解を深めてもらうことができたと考えています。

【シラバスのページ 講義名称「日本海軍の技術史」と検索】

https://websrv.tcu.ac.jp/tcu_web_v3/slsskgr.do

【分析機器・科学機器遺産についての紹介ページ】

<https://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/category/heritage/>

【理工チャレンジ(リコチャレ)】

<https://www.gender.go.jp/c-challenge/>

★トピックス

- ・2025年度の王禅寺オープン・ラボは、7月26日(土)に開催しました。
今回は、事前予約不要、随時受付のスタイルで実施しました。
<https://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/2010/>

★利用実績(8月)

- ・放射線業務従事等登録数；業務従事者：61名、指定従事者：55名
- ・一時立入者数(のべ人数)：131名

★主なスケジュール

8月(実績)

※定期事業者検査(7月から9月の間に実施)

- 2日(土) 教養科目・教養特別講義「日本海軍の技術史」受講者の見学会
- 6日(水)～8日(金) 第22回 日本加速器学会 年会@SC
- 9日(土) 教養科目・教養特別講義「日本海軍の技術史」受講者の見学会
- 9日(土)～20日(水) 放射線管理区域内空調系停止
- 10日(日) 日本原子力学会 ダイバーシティ推進委員会

女子中高生夏の学校（夏学2025） 出展助勢
17日（日） 子ども科学教室@スペースナナ
19日（火） 川崎市危機管理室 来所
19日（火）、20日（水） リコチャレ 実験室見学会
21日（木）、22日（金） 日本原子力学会 関東・甲越支部
原子力オープンスクール@三菱みなとみらい技術館
出展助勢
25日（月）、26日（火） 東京都市大学原子力人材育成実習
27日（水） 所内・管理室会議
原子力規制庁 日常検査

9月（予定）

※定期事業者検査（7月から9月の間に実施）

8日（月） 棚卸し PIT(*1)

9日（火） 所内・管理室会議

17日（水） 3大学（東海大、芝浦工大、都市大）合同発表会@東海大

※月内に1度程度、原子力規制庁（NRA）の日常検査（フリーアクセス）の実施

(*1) Physical Inventory Taking

—*—

◆書式類のページ

<https://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/guide/format/>

◆外部との共同研究/受託研究

<https://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/guide/history/external/>

◆原研のスタッフ紹介

<https://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/guide/staff/>

◆マンスリーレポートのバックナンバー

<https://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/category/report/>

【げんけんのひとびと】

8月6日から8日にかけて世田谷キャンパスで開催された日本加速器学会の第22回年会について紹介します。科学大、東大、都市大の3大学で実行委員会を組織し、実行委員長は科学大・林崎先生（本学客員教授）、プログラム委員長は東大・坂上先生、副実行委員長として開催地となった本学・羽倉准教授が構成メンバーとして加わりました。加速器学会としては、初の都内開催となり、発表件数や企業展示ブースの出展数など例年並みの規模で実施できるか心配されましたが、結果的には、参加者550名、企業展示ブース63小間といずれも過去最多を更新しました。

AI/機械学習や高エネルギー加速器実験の現在と未来などをテーマとした企画セッションが行われ、特別講演（公開講座）では、放課後に加速器！？～高専生、総合科学に挑む～というタイトルで実際に活動している高専生に登壇していただき、活動内容を紹介してもらうという人材のすそ野を広げる取組の一端を紹介する企画も行いました。

【加速器学会 第22回年会】<https://www.pasj.jp/dai22kainenkai/index.html>

◇問合せ先

本配信内容についてのお問合せは、以下にお願いいたします。

原子力研究所 羽倉 nhagura[a]tcu.ac.jp

～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～

東京都市大学 原子力研究所 <https://atomsun2.atom.tcu.ac.jp/>

〒215-0013 神奈川県川崎市麻生区王禅寺971番地

TEL 044-966-6131

FAX 044-955-6071

★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～☆～★～